



むつかわ瓦版

MUTUKAWA KAWARAN

Vol. 17

発行：六ツ川地区
社会福祉協議会
発行人：最上 直
発行日：平成30年3月31日



認知症みまもりタグ活用実証実験報告



日本国内の認知症徘徊による行方不明者は、毎年10,000人以上となっています。

認知症みまもりタグは、タグを携帯する高齢者がボランティアの「専用アプリを入れたスマホ」とそれ違った際に、位置情報をALSOKの専用サーバーへ自動送信し、ご家族のスマホ等により、高齢者の位置（過去の履歴）を確かめることができるものです。

「認知症みまもりタグ活用実証実験」は、平成28年11月、「六ツ川みまもりたい」を中心に見守りネットワークづくりに取り組んでいた六ツ川地区へ横浜市南区高齢・障害支援課より協力の依頼があり、平成29年3月に横浜市健康福祉局とALSOK 総合警備保障株式会社の「認知症みまもりタグ活用実証実験」の協定締結により参加を決定、本年3月末をもって実証実験期間が終了しました。

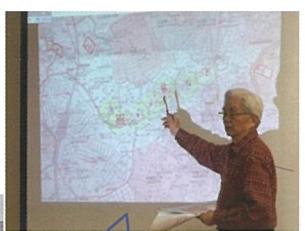
この間、横浜市南区とALSOK 総合警備保障株式会社の協力を得て、4回の説明会を開催、六ツ川地域の方々延べ202人が参加し、みまもりタグ専用アプリをスマートフォンにインストールしたボランティアは、50名を超過しました。また、むつかわ瓦版 Vol.15、Vol.16に実証実験記事を掲載し広報に努めました。

六ツ川地区で「南区徘徊認知症高齢者あんしんネットワーク」へ登録されている方々のご利用には至りませんでしたが、ボランティアを含め8名の方に“みまもりタグ”を携帯していただき有効に活用できたものと考えます。

3月16日 六ツ川一丁目コミュニティハウスからマルエツ六ツ川店と周辺にて“みまもりタグ”検索訓練を実施



タグを携帯して
移動中



パソコンの検索画面で
移動状況を確認

<スマートフォンの検索画面>

●が最新の位置情報。●はタッチしないと時間がわからぬので、
同じ様な所を行ったり来たりしている場合、移動方向が瞬時にわからぬ。
一目でわかるような画面だとより使いやすい、という意見がありました。

今後は、認知症で徘徊する方を安全かつ迅速にみつけることができる手段のひとつとして、“みまもりタグ”等の位置情報の検出器の活用が進むよう、ご家族やケアマネジャー等の支援者への周知が図られると共に、機器の機能が充実し、最終的に介護保険制度や行政の福祉制度に組み入れられることが望されます。

今後【みまもりタグ】の使用を希望する方は

＜申込・問合せ先＞

ALSOK 横浜支社 担当:山賀(やまが)

☎045-682-0650 e-mail yamaga-t@alsok.co.jp

*タグ購入費用: 2,200円 利用料: 毎月250円

*専用アプリ（「みまもりタグアプリ」）をインストールしてください。



連合だより

六ツ川地区連合自治会

第4回

連合各部の紹介

前回に引き続き、今回は家庭防災員と交通安全母の会の紹介をします。

家庭防災員

家庭防災員制度は、横浜市独特の制度です。

横浜市は消防局が総力を結集して編成した「家庭防災員研修」を、市民の方々に受講していただき、研修終了者には、横浜市長名で「家庭防災員」認定書を発行し、家庭と地域の防火防災、自助共助活動の担い手として終身活動していただこう・・・と言う趣旨です。昭和44年に始まり、すでに48年が経過しました。

「家庭防災員研修」は、南消防署主催で年5回開催され、防火防災の全般にわたり座学と実習があります。現在H30年の受講者募集中。希望者は町会長経由で申し込んで下さい。

費用無料。H29年は、当連合から53名が受講しました。

六ツ川地区では、連合の各町会から選ばれた「家庭防災員連絡員」が集まって年間の活動計画を立て活動しています。私たちの日常生活に密着した安全安心をテーマに皆さんと一緒に活動したいと思います。是非ご参加下さい。H29年は、絶対に台所火災を出さないために・・・《高齢化時代の安全安心なキッチンを考える》をテーマに見学・勉強・活動しました。



交通安全母の会

「おはようございます」「おはようございます」「行ってらっしゃい」「行ってきます」黄色いはんてんを着て、登校児童との会話する様子を目にした事がある方もいると思います。交通安全母の会の活動の1つ、登校児童の横断誘導です。

『児童と高齢者を交通事故から守ろう』と発足された、交通安全母の会。

交通安全週間では、南区内のいろいろな場所で街頭キャンペーンを行い、反射材を使用したグッズを配布しながら、交通安全の呼びかけをしています。そして、もちろん、六ツ川地区の行事にも、積極的に協力・参加しています。



横浜国際高校地域交流会

10/28 (水)

櫻井校長の学校案内で、卒業までに英検1級・準1級取得を目指していることを聞きました。

次に生徒の合唱・フラメンコ舞踊・吹奏楽の演奏を楽しみました。

自治会長・保健活動推進員・民生委員等30名が、生徒たちと交流を深めました。



六ツ川地区連合自治会 主要行事予定表(4月~10月)

5月20日 (日) 六ツ川連合自治会総会
5月27日 (日) 六ツ川地区社協総会
6月 8日 (日) 地区懇談会
9月 9日 (日) 防災ウォークラン
10月14日 (日) 健民祭



◇毎週月曜日 野外サロン
◇毎月第二土曜日 朝市サロン 3会場で実施!
9時 六ツ川二丁目第二公園
10時 別所中里台公園 10:30 マヤ幼稚園
◇毎月第一火曜日 三世代交流サロン (カーネーション)

社協だより

六ツ川地区社会福祉協議会

29年9月～30年3月に実施した主な行事

- ◆ 「食事サービスおしゃべり会」 毎月第4火曜日
- ◆ 「保健体操会」 每月第1・第3日曜日
- ◆ 「横浜国際高校との地域交流会」 10/28 (土)
- ◆ 「六ツ川ふれあい祭りバザー・模擬店」 11/12 (日)
- ◆ 「六ツ川地区介護者の集い」 11/26 (日)
- ◆ 「南区社協・福祉功労者表彰」 11/27 (月)

おめでとうございます

六ツ川地区では、渋谷はるみさん(中一)
木田慶子さん(つくしへ丘)が表彰されました。

表彰式での大津会長、
大木区長、最上会長、
渋谷さん



「食事サービス・おしゃべり会」ニュース No. 10

12月の食事会ではスタッフもサンタ姿になり、ちょっと早いクリスマス会をしました。

食事後はクリスマスソング♪を歌って、楽しいひとときを過ごしました。

1月の食事会は雪のため中止になりましたが、2月の食事会は、南警察から振り込めサギの話を聞き、交通安全協会から交通安全の話を聞きました。
転倒防止の体操も教えていただきました。



2月の食事会では、1月に出来なかった抽選会で盛り上がり!!
→ちらし寿司、桜餅などのお弁当です。



六ツ川ふれあい祭り・福祉バザー

今年度も多くの方が、朝早くから来場されました!
たくさんの出品とお買い上げにご協力いただき
ありがとうございました。

¥211,161-

今年も多大な収益がありました



ふれあい祭りでは、大阪桐蔭・吹奏楽部の演奏会もあり盛り上がりました!!



みんなで交流ケアプラ祭り

3/18 (日) 六ツ川地域ケアプラザにてケアプラ祭りが開催されました。

民生委員有志と福祉スタッフが赤飯・豚汁・天ぷらなどを販売しました。

天気にも恵まれ多くの方々でにぎわいました。



今後(30年4月~9月)実施予定の主な行事

- ◆ 「食事サービスおしゃべり会」「保健体操会」毎月
- ◆ 「肢体不自由者対象福祉バス旅行」4/26 (木)
- ◆ 「六ツ川社会福祉協議会・総会」5/27 (日)
- ◆ 「昔遊び大会」6/17 (日)
- ◆ 「六ツ川演芸大会」9/17 (月)

むつかわ広場



六ツ川の

名物さん

そば処 大むら

今回の名物さんは、
六ツ川二丁目バス停
そばの「そば処 大むら」さんで
す。

昭和54年に弘明寺のご実家から暖簾をわけ六ツ川に店を構えました。当時はバスも通っていませんでしたので、出前が多かったそうです。

うどん、中華麺も作っています。打ちたてのお蕎麦はお店で食べるのが一番とか。

皆様もお近くにおいで節にはぜひご賞味ください。



「民生委員・児童委員 100周年」 シンボルマーク

民生委員のシンボルマークであるハートでできた四葉を囲むグリーンの円は、人々・地域の暮らしと成長を表し、100年の歴史を表す「100」の文字のオレンジ色が、やさしさとふれあいを意味しています。

「これからも地域とともに」というキャッチコピーには、これまで 地域とともに100年間歩んできた実績を背景に、これからも ずっと地域の方々と共に歩み続けるという、民生委員・児童委員の想いが込められています。

祝 民生委員制度創設100周年

六ツ川地区民生委員・児童委員協議会 会長 山之城金三

大正6年に岡山県で発足した済世顧問制度を始まりとした民生委員制度が、創設100周年を迎えました。

この間、時代とともに社会の姿は変化し、それに応じて国民の直面する生活課題もさまざまに変化してきましたが、民生委員は自らも地域の一員として、高齢者や障がい者だけでなく、子育て家庭の見守り相談など幅広い活動によって、常に「良き隣人」として、地域の人々に寄り添い、身近相談相手となり、行政などへの「つなぎ役」となってきました。

そうした熱心な活動で制度・地域の人々を支えてきた先輩方の今までの実践が人々の信頼を得て、民生委員制度は社会に根付き、世界に誇るべき財産となっていました。

今日も、急速に進む少子高齢化や地域社会の変化の中にあって様々な課題があります。これらの課題を抱える人々を支え、地域の課題を解決していくために、また「誰もが笑顔で、安全に、安心して暮らせる社会」の実現に向けて、地域のつながりや力を高めるために、次の百年に向けて、さらに一步踏み出して取り組んでいきたいと願っています。



南区民生委員制度創設100周年記念
セレブレーションパーティー
(2/7 ローズホテル横浜にて)

高橋
舛田
小早川
市川
最上
祥世
悦子
津惠乃

編集委員

編集長
光永
美代子



「今日はどんな
記事を載せよう
か」という話し合
いにある、新しい
発見を楽しんでい
ます。
地域の行事や取
り組みをはじめ六
ツ川のいろいろな
情報を集め、読ん
でくださる方にわ
かりやすく伝える
ことができるよう
になります。
なりたいと願つ
ています。

●編集後記●